

# 新潟本社の取り組みについて

2018年1月29日  
東京電力ホールディングス株式会社  
新潟本社

1. 新潟本社の取り組みの概要
  - 広聴・広報活動
  - 自治体避難計画の充実に向けた支援
  
2. 個別の取り組みの詳細
  - ① 各戸訪問
  - ② 東京電力コミュニケーションブース
  - ③ 地域の皆さまへの説明会
  - ④ トークサロン
  - ⑤ 発電所視察対応
  - ⑥ 広告
  - ⑦ 自治体避難計画の充実に向けた支援
  - ⑧ 地域活動への参加

# 1. 新潟本社の取り組みの概要（広聴・広報活動）

- 2015年4月の新潟本社設立以降、新潟県の皆さまからのご意見をお伺いし、ご不安や疑問におこたえできるよう、柏崎刈羽原子力発電所で講じている安全対策などの当社取り組みについて、立地地域をはじめ新潟県全域において広聴・広報活動を実施。

広聴・広報活動	項目	内容
① 各戸訪問		柏崎市と刈羽村にお住まいの皆さまから、ご意見やご要望を直接お伺いするとともに、発電所の安全対策の取り組みや免震重要棟の耐震性に関する問題などについてご説明・お詫びするため、5月～9月にかけて新潟本社の社員が各戸訪問を実施。
② 東京電力コミュニケーションブース		上越・中越・下越地域それぞれに「東京電力コミュニケーションブース」を設置し、新潟県の皆さまからのご意見をお伺いするとともに、パネル展示等を通じて柏崎刈羽原子力発電所で講じている安全対策などをご説明。また、VRを導入して臨場感ある映像でも安全対策を紹介。炉心溶融の公表遅れや免震重要棟の耐震性に関する問題などについてもご説明・お詫びを実施。
③ 地域の皆さまへの説明会		発電所立地地域にお住まいの皆さまを対象とした説明会を開催。
④ トークサロン		発電所立地地域にお住まいの皆さまを対象に、カルチャー教室と懇談会を組み合わせた対話活動を実施。
⑤ 発電所視察対応		新潟県内をはじめより多くの皆さまに福島第一原子力発電所の事故を踏まえた安全対策をご覧いただくため柏崎刈羽原子力発電所の視察を実施。
⑥ 広告		柏崎刈羽原子力発電所で講じている安全対策や当社の取り組みを、新潟県内のより多くの皆さまにお伝えするため、各メディアを通じた広報を実施。

# 1. 新潟本社の取り組みの概要（自治体避難計画の充実に向けた支援）

## 自治体避難計画の充実に向けた支援活動

- 原子力災害発生時における地域の皆さまへの避難支援策の具現化に向けて、原子力事業者として最大限ご協力するため「介護を必要とされる方々の避難支援」や「避難退域時検査（スクリーニング）の運営支援」など、様々な方策を検討。
- 2016年10月には、新潟本社内に被災者支援活動チームを設置し、避難に必要な車両を配備するなど、地域の皆さまの避難を支援する初期活動を速やかに開始できる体制を整備。

### 項目

### 内容

#### ⑦ 自治体避難計画の充実に向けた支援

- PAZ・UPZ圏内自治体の避難計画の充実に向けた支援
- 原子力災害時の住民避難支援方策の具現化
- 被災者支援活動チームの設置

## 地域活動

### 項目

### 内容

#### ⑧ 地域活動への参加

- 新潟県内の各種ボランティア活動に継続して参加

## 2. 個別の取り組みの詳細 ① 各戸訪問

- 新潟本社の社員が柏崎市、刈羽村の皆さまのご家庭を戸別に訪問させていただき、ご意見やご要望を直接お伺いするとともに、発電所視察のご案内や安全対策等の取り組みをご説明する活動を実施。
- 今年度は2017年5月～9月に実施。審査会合の状況や安全対策等の取り組みについてお伝えするとともに、免震重要棟の耐震性に関する問題について経緯や原因をご説明し、地域の皆さまにご心配をおかけしていることに対してお詫びさせていただいた。

### 訪問実績

- 第1回目 2015年6月～9月
- 第2回目 2016年5月～9月
- 第3回目 2017年5月～9月

### 訪問先

- 柏崎市と刈羽村にお住まいの皆さま
- 約41,000軒を訪問



(参考：訪問時の配布資料イメージ)

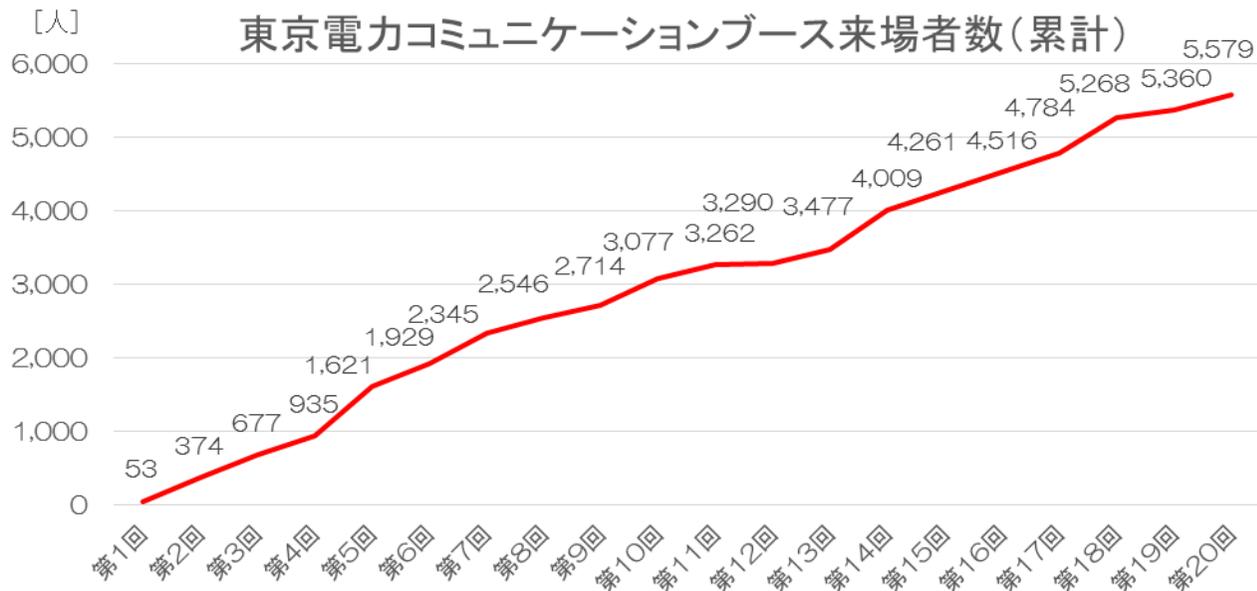
## 2. 個別の取り組みの詳細 ② 東京電力コミュニケーションブース 入 1/2

### 実施内容

- 上越・中越・下越地域それぞれに「東京電力コミュニケーションブース」を設置し、皆さまのご意見をお伺いするとともに、パネル展示等を通じて発電所で講じている安全対策や放射線など原子力発電全般についてご説明。炉心溶融公表遅れや免震重要棟の耐震性に関する問題などについてご説明しお詫びさせていただきました。

#### <開催実績>

- 上越市 (6回実施)
- 長岡市 (4回実施)
- 新潟市 (4回実施)
- 小千谷市 (1回実施)
- 見附市 (2回実施)
- 新発田市 (1回実施)
- 南魚沼市 (1回実施)
- 燕市 (1回実施)



#### <今後の開催予定>

- 1月25日(木)～29日(月) : 新潟市 アピタ新潟西店 ※開催中
- 2月 9日(金)～11日(日) : 新潟市 PLAKA1 新潟大学駅南キャンパス  
「ときめいと」多目的スペース
- 2月中旬 : 上越市 (詳細調整中)
- 2月下旬 : 長岡市 (詳細調整中)

## 2. 個別の取り組みの詳細 ② 東京電力コミュニケーションズ 入 2/2

- 南魚沼市で、10月27日～10月31日まで開設したコミュニケーションブースにおいてVR（バーチャルリアリティ）を初めて導入し、臨場感ある映像でKKの安全対策をご紹介。

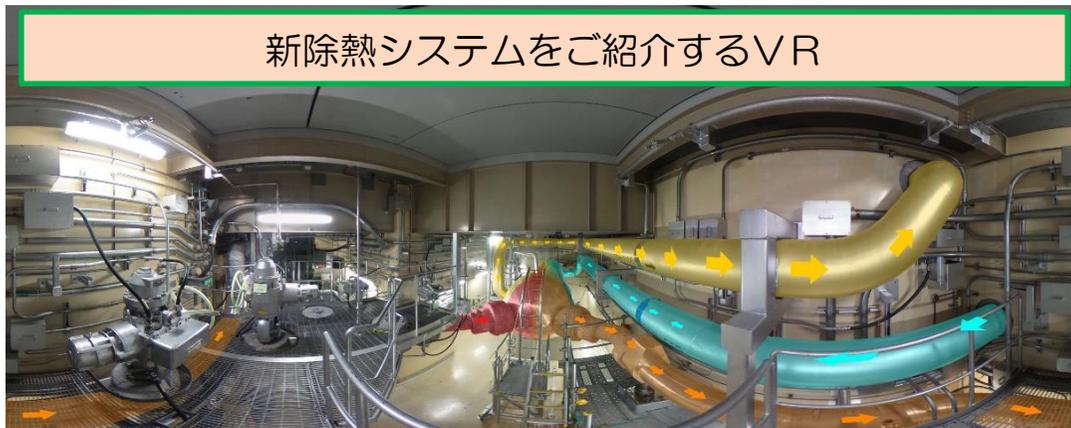


コミュニケーションブースでの様子

防潮堤やガレキ撤去車などの安全対策設備をご紹介するVR



新除熱システムをご紹介するVR



※新規制基準適合性審査でご指摘いただいた1～4号機側防潮堤に関する耐震上の課題についても、あわせてご説明しております。

## 2. 個別の取り組みの詳細 ③ 地域の皆さまへの説明会

- 柏崎市と刈羽村において、地域の皆さまからのご意見を伺い、発電所の状況や当社の取り組みをお伝えする貴重な場として「地域の皆さまへの説明会」を実施。
- 2018年1月30日と1月31日に、新規制基準への適合性に係る原子炉設置変更許可申請の内容と、安全対策に組み込みについてご説明させていただく予定。

### 次回開催日時

- 2018年1月30日（火）：柏崎市産業文化会館
- 2018年1月31日（水）：刈羽村生涯学習センター ラピカ  
※それぞれ18時～20時50分 予定（17時30分開場）

### 開催実績（新潟本社設立以降）

日時	場所	参加者数
2015/6/8	刈羽村生涯学習センター ラピカ	64名
2015/6/9	柏崎市産業文化会館	128名
2015/12/21	柏崎市産業文化会館	128名
2015/12/22	刈羽村農村環境改善センター	44名
2016/9/13	柏崎市市民プラザ	79名
2016/9/14	刈羽村 高町地区集会場	24名



## 2. 個別の取り組みの詳細 ④ トークサロン

- 柏崎刈羽原子力発電所の立地地域にお住まいの女性や子育てをされている方々を対象として、年間を通してトークサロンやカルチャー教室を実施。
- 発電所の取り組みをお伝えするとともに、立地地域の皆さまと新潟本社職員との対話活動を実施。

### 開催実績（2017.4～2017.12）

時 期	場 所	主な内容	参加者数
2017.4	・柏崎エネルギーホール ・柏崎刈羽原子力発電所 サービスホール	・トークサロン ・カルチャー教室	63名
2017.5	・柏崎エネルギーホール ・柏崎刈羽原子力発電所 サービスホール	・トークサロン ・カルチャー教室	22名
2017.6	・刈羽ふれあいサロン 「き・な・せ」	・トークサロン ・カルチャー教室	37名
2017.7	・刈羽ふれあいサロン 「き・な・せ」 ・柏崎エネルギーホール	・農涼まつり ・トークサロン ・カルチャー教室	180名
2017.8	・柏崎エネルギーホール ・柏崎刈羽原子力発電所 サービスホール	・トークサロン ・カルチャー教室	16名
2017.10	・柏崎市市民プラザ ・柏崎エネルギーホール	・トークサロン ・カルチャー教室	42名



トークサロン



カルチャー教室

## 2. 個別の取り組みの詳細 ⑤ 発電所視察対応

- 新潟県内をはじめ、より多くの皆さまに福島第一原子力発電所の事故を踏まえた安全対策をご覧いただくため、柏崎刈羽原子力発電所の視察対応を継続的に実施。

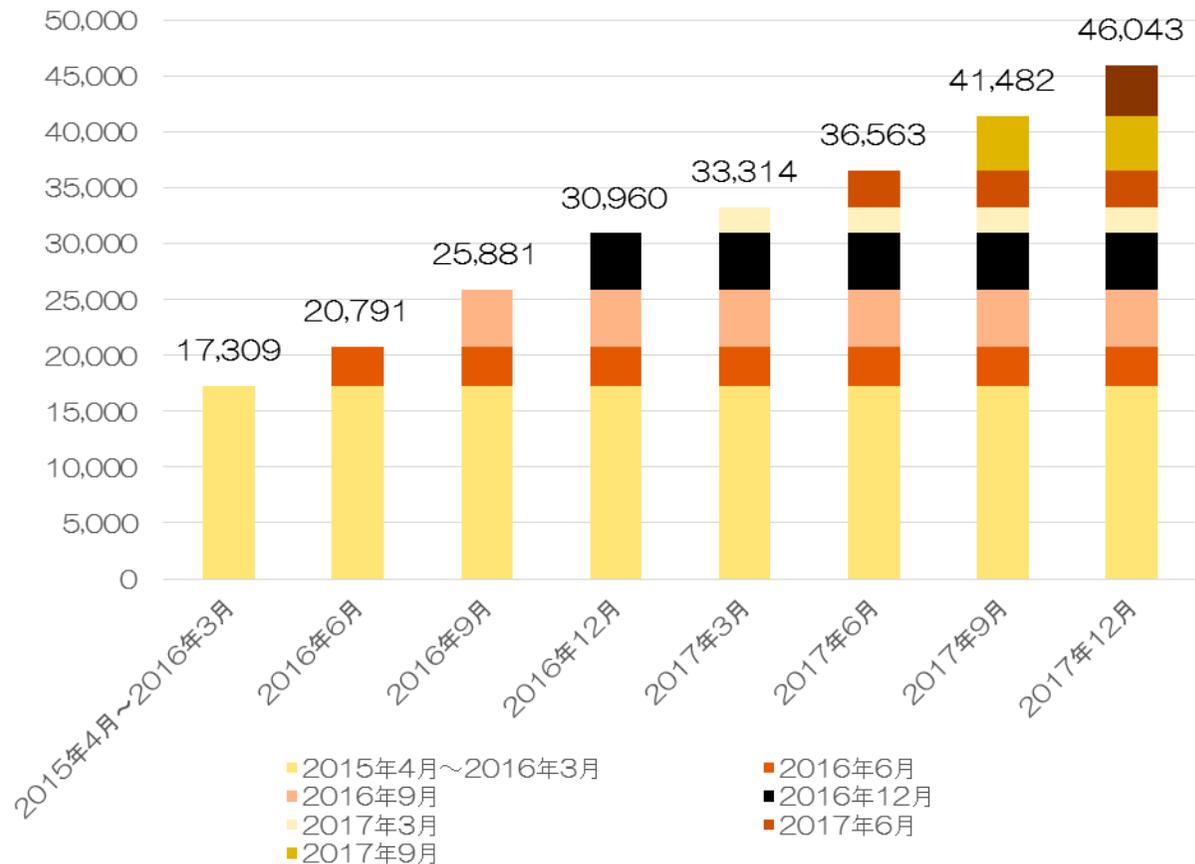
【防潮堤（5～7号機側）】



【電源車】



【発電所視察数(累計)】



## 2. 個別の取り組みの詳細 ⑥ 広告

- 福島第一原子力発電所事故の反省と教訓を踏まえ、柏崎刈羽原子力発電所で講じている安全対策や当社の取り組み等を、新潟県内の一人でも多くの皆さまにお伝えするため、各メディアを通じた広告を実施。

- 「東京電力通信 第4号」を発行し、新潟本社代表の就任あいさつや各戸訪問等であじだいた声などをお知らせ。  
(2017年8月25日)

- 「東京電力通信 第5号」の発行を予定しており、柏崎刈羽原子力発電所6, 7号機の原子炉変更設置変更許可をいただいたことや、今後、新規制基準に関わる許認可のながれなどをお知らせする予定。(2018年2月2日発行予定)

- 新潟県内の民放各局、ラジオ各局においてKKの安全対策の状況をお伝えするTVCM、ラジオCMを実施。
- 同様に新潟県内限定で新聞、雑誌広告を展開。

TEPCO 東京電力通信 第5号 2018年2月発行

今日の  
お知らせ

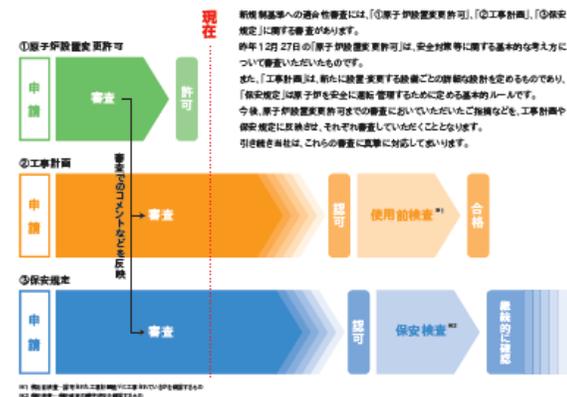
- 6, 7号機の新規制基準への適合性について、新規制基準に関わる許認可のながれ、新規制基準への主な対応

柏崎刈羽原子力発電所6, 7号機の  
原子炉設置変更許可をいただきました

引き続き、新規制基準の審査、県の検証、皆さまへのご説明に  
真摯に取り組んでまいります

昨年12月27日、当社は、原子力規制委員会より柏崎刈羽原子力発電所6, 7号機の原子炉設置変更許可をいただきました。2013年9月27日に原子炉設置変更許可申請をして以降、審査がすすむ過程において様々な指摘をいただいたことで、安全対策に関する基本的な考え方は、新規制基準の求めるレベルに達することができたと考えております。今後、工事計画認可申請および保安規定変更認可申請の審査に対応していくとともに、検査の場を3つの検査に、当社としても全力で対応してまいります。当社は、柏崎刈羽原子力発電所の更なる安全性・信頼性の向上に努め、皆さまのご懸念に対して真摯に対応してまいります。

新規制基準に関わる許認可のながれ



<2018年2月2日 発行予定>

## 2. 個別の取り組みの詳細 ⑦ 自治体避難計画の充実に向けた支援 1/2

- 新潟県および県内自治体の避難計画の充実に向けて、原子力事業者として最大限の協力・支援を実施。
- 内閣府主催の地域原子力防災協議会での協議を踏まえ作成される「緊急時対応（広域避難計画）」に基づき、原子力事業者としての役割を確実に果たすべく、避難支援の具体化に向けた検討を推進。

### 実施内容

#### 「被災者支援活動チーム」の運用開始

地域の皆さまの避難等に関する支援を行うことを目的として、2016年10月より新潟本社で「被災者支援活動チーム」の運用を開始。現在は新潟本部の社員約50名体制。今後、要員や内容の拡充を図る。

初期活動Ⅰ PAZ(概ね5km圏内)における避難支援活動

初期活動Ⅱ UPZ(概ね30km圏内)における避難支援活動

### 支援内容

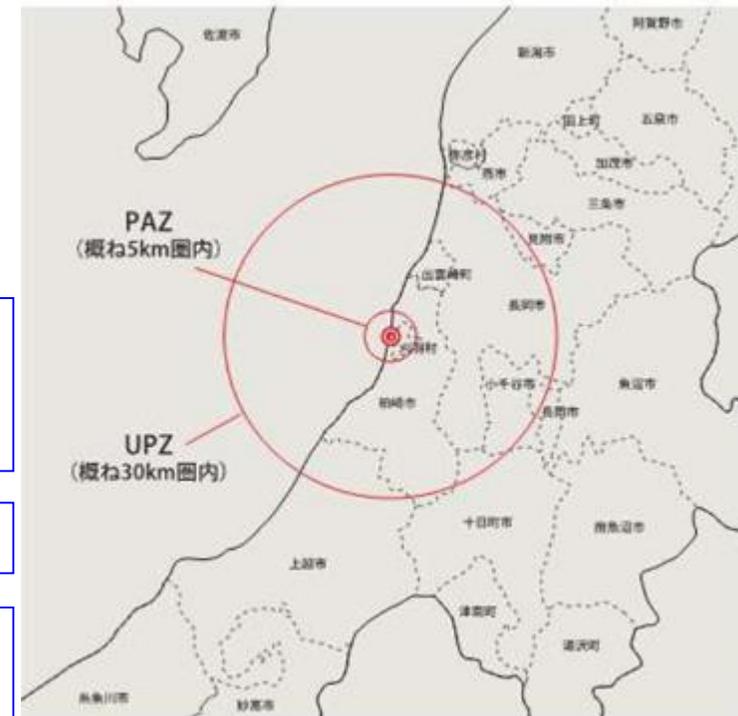
- 介護を必要とされる方々の避難支援
- 福祉施設・病院、避難経路所の運営支援
- 避難退域時検査（スクリーニング）の運営支援

### 資機材の配備状況

- マイクロバス、福祉車両、車いす等

### 知識・技能の習得

- 新潟本部の全社員が介護技術セミナーを受講
- 大型自動車免許取得者36名



## 2. 個別の取り組みの詳細 ⑦ 自治体避難計画の充実に向けた支援 2/2

### 避難支援への具体的な取り組み

- 原子力災害が発生した場合、PAZ圏内におけるマイクロバスや福祉車両による要支援者の方々などの避難支援、福祉施設・病院等の屋内退避施設の運営支援を想定。
- PAZ、UPZ圏内からの避難支援として、避難退域時検査、避難経由所等の運営支援を想定。  
※支援規模や内容については、今後の地域原子力防災協議会等での協議の動向を踏まえて対応。

#### 【訓練用車両の確保】

- 訓練用車両として、マイクロバス1台および福祉車両2台（車椅子タイプ）等を新潟市内に配備。今後も必要に応じて追加配備予定。
- 運転手についても当社から派遣
  - 現在、運転手の要員確保のため、新潟本部全体で社員の大型免許の取得を推進（2017年12月末:36名）



#### 【避難支援に必要な知識・技術習得】

- 要配慮者への補助者を当社から派遣
  - 東電パートナーズ(株)から講師を招聘し、要配慮者避難支援活動に必要なケアサポートに関する知識や技術の習得を目的とする「介護技術セミナー」を開催  
⇒新潟本部の全社員が受講



### 他電力会社との相互協力に関する協定の締結

- 先行して再稼働している事業者の取り組みも踏まえ、地理的近接性の観点から2016年9月に東北電力(株)との2社間、2017年3月に中部電力(株)及び北陸電力(株)との3社間、2017年6月に日本原子力発電(株)との2社間で協力協定を締結し、避難支援の充実を図っている。

## 2. 個別の取り組みの詳細 ⑧ 地域活動への参加 1/2

### ○中津川運動公園環境整備 (2017/7/12)

- ・作業内容：除草作業
- ・参加者：信濃川事業所  
信濃川電力所 計 14名

### ○ぎおん柏崎まつり海の大花火大会 (2017/7/27)

- ・作業内容：海岸会場清掃
- ・参加者：柏崎刈羽原子力発電所社員  
協力企業社員 計 23名

### ○長岡まつり大花火大会 (2017/8/3~4)

- ・作業内容：花火大会会場における清掃活動
- ・参加者：新潟本部社員 計 14名

### ○越後湯沢秋桜ハーフマラソン (2017/9/24)

- ・作業内容：マラソン運営の補助
- ・参加者：新潟本部社員 信濃川事業所  
信濃川電力所 計 16名



長岡まつり大花火大会



越後湯沢秋桜ハーフマラソン

## 2. 個別の取り組みの詳細 ⑧ 地域活動への参加 2/2

### ○魚野川河川清掃 (2017/10/1)

- ・作業内容：河川清掃
- ・参加者：信濃川事業所 信濃川電力所 計 3名

### ○柏崎マラソン (2017/10/29)

- ・作業内容：マラソン運営の補助
- ・参加者：新潟本部社員  
柏崎刈羽原子力発電所社員 計 22名



### <今年度の実績>

イベント	実施日	作業内容	参加者数
クリーンナップ上越2017	2017/4/16	高田城百万人観桜会の会場清掃	10名
信濃川河岸段丘ウォーク	2017/4/29	マラソン運営の補助	4名
柏崎潮風マラソン	2017/5/21	マラソン運営の補助	18名
第6回十日町市民協働の森づくり植樹祭	2017/6/4	植樹のお手伝い	9名
柏崎市えんま市会場早朝清掃	2017/6/15~16	会場清掃	58名
柏崎市えんま市会場への付き添い	2017/6/15~16	特別養護老人ホームに入所されている方の付き添い	3名
NPO法人湯沢みどりの会 第18回植樹会	2017/6/19	植樹のお手伝い	4名
柏崎市荒浜海岸清掃	2017/6/20	海岸清掃	107名